

# クリナーゼ SAP-200L

## 耐アルカリ性プロテアーゼ

### ◆ 本製品の特徴

クリナーゼSAP-200Lは *Bacillus subtilis* の産生する耐アルカリ性プロテアーゼ酵素です。本製品は精製された高単位の耐アルカリ性プロテアーゼを主成分としており、その最大の特徴は従来のプロテアーゼと比較してすぐれた耐熱性と特にアルカリ性側に特化した広い範囲のpHで安定性が優れている事にあります。また、EDTAやトリポリリン酸塩の様なカルシウム除去剤の存在下でも活性を発揮する実用性のあるプロテアーゼです。

### ◆ クリナーゼ SAP-200L の性質

1. 作用pH pH 6.0~12.0 の広範囲で作用します。
2. 作用温度 作用最適温度は 50°C付近です。
3. 阻害物質 プロテアーゼはタンパク質ですので、一般のタンパク質変性剤、沈殿剤などは作用を阻害します。また、 $Hg^{+}$ ,  $Co^{2+}$ ,  $Cu^{2+}$ ,  $Zn^{2+}$ などの重金属イオンなども活性を阻害します。

### ◆ 製品規格

試験項目	規格値
外 観	茶褐色液体
酵素力価(pH 7.0)	160,000PU/ml 以上 (代表値 200,000)
pH(1%, 25°C)	5.0~7.0
比重(g/ml)	1.0~1.2

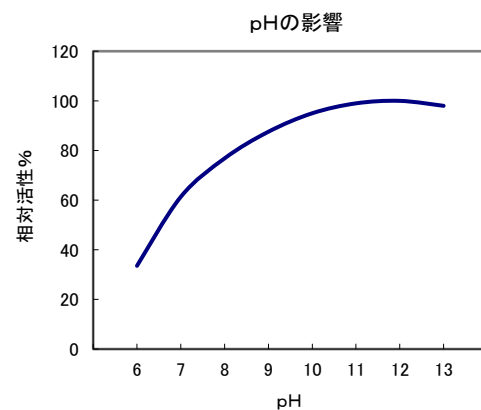
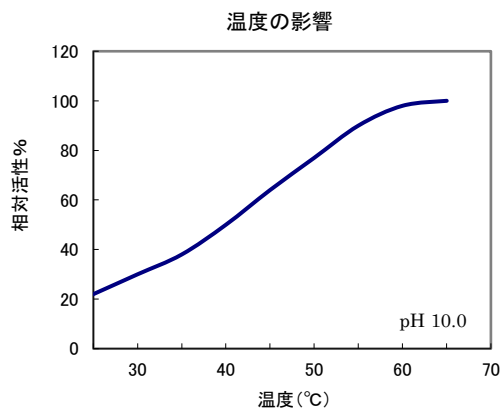
#### □ 酵素単位の定義

2%カゼイン (pH7.0、リン酸バッファー) 5 ml に 1 ml の酵素溶液を加えた後、40°C、10分間反応させた時、1分間に1μgのチロシンに相当するフォリン発色をTCA可溶性成分として遊離する活性を1単位 (PU/ml) とします。

### ◆ 荷姿

18 kg C/N

## ◆ 安定性データ



## 取扱上の注意

- 本製品は酵素製品です、直射日光のあたるところや高温の場所を避け、出来るだけ涼しい場所に保管して下さい。
- 水温が低いと酵素の働きが悪くなります。水温は 20°C以上を保ちお使い下さい。
- 絹製品は経年劣化により、生地を傷める場合があります。<sup>※3</sup>  
<sup>※3</sup>結晶性の絹繊維は分解しませんが、経年劣化によりほつれた部分や繊維が断裂しているような場所では分解が起こり製品の劣化へつな갑니다。
- 原液は直接皮膚と接触しないように必要に応じて保護メガネ、保護面、保護手袋等の保護具を着用すること。
- 目に入った場合は流水で十分洗い流し、異常がある場合は速やかに眼科医を受診する。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かず、水や牛乳を飲み医師に相談する。

販売・お問い合わせ先



日本酵研株式会社

本社 〒530-0038

大阪市北区紅梅町 1-7 久幸ビル 3 F

TEL 06-6354-1821(代表) FAX 06-6351-1888